

－資料－

星野文昭さん国賠闘争について

星野さんを取り戻そう！ 全国再審連絡会議

東京都港区新橋 2-8-16 石田ビル 4階

電話 03-3591-8224

ファックス 03-3591-8226

(1) 国家賠償請求訴訟を申し立て

2019年5月30日、沖縄闘争を闘い、獄中44年を不屈に闘い抜いた星野文昭さんは、東京都昭島市にある東日本成人矯正医療センターにおいて死亡しました。享年73。

5月28日に肝臓がんの切除手術を受けてわずか2日後でした。切除された腫瘍は14cm×11cm×9cm、重さは1700gもありました。これほど巨大になるまで星野さんが収容されていた徳島刑務所においてなぜ発見されなかったのか、医療センターにおいてどのような手術が行われたのか、そもそも医療センターに切除手術を行う設備と能力があったのか、家族の怒りと疑問は大きくなるばかりでした。

このため星野再審弁護団は、東京地方裁判所立川支部と徳島地方裁判所に証拠保全の申し立てを行い、同年7月、9月、10月の3回にわたって裁判官と共に立ち入り、大量の資料を入手しました。その分析の結果、星野文昭さんの獄死は国家犯罪であることが判明しました。

2020年2月21日、星野文昭さんの家族である星野暁子さん（妻）、星野治男さん（兄）、星野修三さん（弟）の3人が原告となり、国（直接の行為者は徳島刑務所と東日本成人矯正医療センター）を被告として、国家賠償請求訴訟を東京地方裁判所に起こしました。

代理人となっていた弁護士は、総計107人になりました。

6月22日に第1回口頭弁論が行われ、新たな闘いが始まりました。

国の責任を迫及する国賠闘争に勝利するのは簡単なことではないと言われています。広く労働者民衆に訴えて、法廷での攻防を包み込む大きな運動をつくり出そうと考えています。そのための新たな組織も必要です。

この運動へのご協力と参加を訴えます。

(2) 星野文昭さんの生き方と闘い

星野文昭さんは1946年4月27日、北海道・札幌市で生まれました。

1966年4月、群馬県の高崎経済大学に入学しました。同大学では不正入

学反対闘争が闘われており、星野さんはこれに加わりました。

1971年の春から夏、成田空港建設反対のために三里塚現地に常駐して闘いました。反対同盟の農民は星野さんを厚く信頼し、闘争の合間には子どもたちに勉強を教えて人気がありました。7月の仮処分阻止闘争と9月の第2次強制代執行阻止闘争を闘い、2件の全国指名手配を受けました。

同年11月14日、沖縄返還協定の批准に反対して、東京・渋谷でデモ隊のリーダーの1人として闘いました。

当時の佐藤政権が進めた沖縄返還政策は、沖縄の労働者民衆が心から求めた米軍基地撤去どころか、これを存続・強化するペテン的なものであったからです。11月10日には、直接参加者15万人の沖縄全島ゼネストが闘われました。星野さんたちの闘いは、沖縄・本土の分断を打ち破って、これに連帯するものでした。沖縄は星野さんの闘いの原点であり、今も沖縄との連帯は星野闘争の重要な課題になっています。

この闘いの中で機動隊員1名が死亡しました。星野さんはその「実行犯」にでっち上げられて、1987年に無期懲役が確定しました。しかし、星野さんは無実です。彼を有罪とする物的証拠はなく、あるのは検察・警察がデモに参加した学生たちに強制したウソの供述調書だけです。

星野暁子さんは裁判の傍聴を通して、過酷な弾圧に屈することなく闘う星野文昭さんの生き方に感動して交際を始め、1986年に獄中結婚しました。二人は、再審・無罪によって星野文昭さんの釈放をかちとるために闘いを全力で進めて来ました。無期懲役開始から30年を迎え、四国地方更生保護委員会で星野さんの仮釈放審理が行われる2017年7月からは、即時解放に向けて全国の仲間と共に闘いました。星野文昭さんが獄中で描く絵と暁子さんが書く詩で、毎年カレンダーが作成され、全国で絵画展が開かれています。

同時に、日本にあふれる改憲・戦争阻止、安倍政権への怒りと一つになって闘いを進めてきました。

(3) 徳島刑務所の責任

徳島刑務所は星野さんに度重なる懲罰をかけ、2010年からは、ようやくかちとった友人面会を事実上全面禁止しました。

星野さんや他の受刑者に対する医療はあまりにも非人間的なものでした。2007年には、医療問題を契機にして刑務所内の暴動まで発生しました。星野さんに関して言えば、当然の医療を放棄し、医療データを隠蔽して、肝臓がんが巨大なものになるまで悪化させました。その責任は重大です。

2018年8月22日、星野さんは刑務作業中にそれまで感じたことのないような痛みに襲われて倒れました。ところが徳島刑務所は「胃けいれん」とし

て1日病舎で休養させただけで作業に復帰させました。その後も星野さんは食欲不振が続き、体重が1カ月に1kgのペースで減少して、面会した家族や弁護士が異常を感じるまでになりました。精密検査を行うよう再三の申入れを行いました。刑務所はいっさい行ないませんでした。

2019年2月によく行った血液検査に驚いて3月1日に腹部エコー検査を行い、肝臓に巨大な「腫瘍（しゅりゅう）」があることを確認しました。しかし、「保安上の理由」（4月15日に医療センターに送った文書）で、星野さん本人にも家族にも弁護団にもいっさい知らせませんでした。

仮釈放審理が重要な段階を迎えており、通知が義務づけられている四国地方更生保護委員会にも知らせませんでした。

4月18日、星野さんは手錠・革ベルトを付けられ、両脇を刑務官にはさまれた状態で車に乗せられ、10時間もかけて医療センターに移送されました。トイレは車内に持ち込んだ簡易トイレを使用させられました。

（4）東日本成人矯正医療センターの責任

医療センターに到着後ただちに検査を受け、星野さんは初めて肝臓に腫瘍があることを知らされました。

5月22日に行われた説明の際、医療センターの医師は一貫して「切除手術ありき」でした。星野文昭さんが求めた重粒子線治療や陽子線治療、あるいは血流を止めて、腫瘍をあらかじめ小さくしてから切除する方法を頭から拒否しました。セカンドオピニオンも拒否しました。

同じ日に行われた家族への説明の際、星野暁子さんが「ICUにはどの位いますか」と質問したのに対して、主治医は「2日位です」と答えています。

星野文昭さんに対する切除手術は、5月28日10時23分から16時18分まで、5時間55分かけて行われました。手術は4347mlの出血をまねき、これが直接の死因となった急性肝不全を引き起こした可能性が大きいと考えられます。血圧は一時40台まで低下しました。これほどの大手術を執刀医と助手の2人体制で行いました。

術後に行われた家族への説明で、医師は「肝臓がんははすべて切除できました。出血がありましたが、血止めの措置を取りました。本人は意識を回復して病室に戻りました」と言いました。これを聞いて、成功と思わない人はいません。「星野さんの手術成功」という連絡が全国を飛び交いました。

しかし実際には、出血は止まっておらず、血圧は手術後一度も100を回復しませんでした。星野さんは非常に危険な状態にあったのです。それなのに、外部から招いた執刀医も助手を務めた外科医も麻酔科医も主治医も帰ってしまい、センターには当直医1人しかいなくなりました。

星野さんは手術直後にはすでにショック状態になっており、肝不全が進行していたと考えられます。血圧は低いままで、尿の量が極端に減少していました。この時に最も必要なのは輸血・輸液と肝不全の治療でした。

しかし、それを行った記録はどこにもありません。それどころか、深夜の1時30分から5時過ぎまで星野文昭さんは「回復室」に放置されて、誰一人看護していませんでした。

翌日5時になって医療センターは慌て始めますが、ほとんど手の打ちようがない状態でした。それでも星野文昭さんは全力で頑張り、5月30日午後9時44分、死亡が確認されました。

(5) 星野国賠闘争勝利の新たな運動の呼びかけ人になってください

星野文昭さん逝去から1周年となる今年5月30日に、東京都内において追悼の集いを行いました。その中で共同代表の狩野満男さんが、「国賠闘争に勝利するために、運動の転換と飛躍が求められている。国賠闘争の新たな陣形、新たな組織をつくり出していこう」と提起しました。ここから、広範な労働者民衆の決起と結びつく新たな星野闘争を開始しています。

あまりにも非人間的な日本の刑事施設における処遇や獄中医療の実態を明らかにし、これと闘う運動をつくり出していこうと考えています。入管施設における医療問題や人権問題も重要な課題になります。

沖縄との連帯が重要です。沖縄は今も日米安保の最大の実体であり、辺野古新基地建設がむき出しの国家暴力によって強行されています。

コロナ危機と闘っている世界の労働者・民衆との連帯もさらに発展させていきましょう。

1971年に星野さんと共に渋谷闘争を闘った大坂正明さんは、46年間もの指名手配と闘った上、「殺人罪」でっち上げを打ち破るために闘っています。大坂さんと一体で闘い、大坂さんの無罪・釈放と星野さんの再審無罪をかちとりましょう。

それらの土台として、全国での絵画展をますます展開して行きます。

底無しの腐敗と危機をさらけ出しながら、改憲・戦争に向かって進もうとする安倍政権に怒る広範な労働者民衆と一つになって、星野文昭さんが終生訴えた「すべての人間が人間らしく生きられる社会」の実現に進みましょう。

これらの闘いに勝利するために、「星野国賠を支援する会」を立ち上げることを決意しました。その呼びかけ人となっていただくようお願いします。

以上